

令和 5 年度 岡山市がん対策推進委員会

令和 6 年 2 月 5 日 (月)

第4期がん対策基本計画（令和5年度～令和10年度）

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
 - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ②がんゲノム医療について
 - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - ④チーム医療の推進について
 - ⑤がんのリハビリテーションについて
 - ⑥支持療法の推進について
 - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について

4. これらを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4) がん登録の利活用の推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- 3. 都道府県による計画の策定
- 4. 国民の努力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

がん対策推進基本計画の見直しのポイント

●がん予防

- ・ 「**がん検診受診率**」の目標について、いずれのがん種においても増加傾向であり、一部のがん種で目標値を達成できたことから、さらなる受診率向上を目指し**50%から60%に引き上げ**

●がん医療

- ・ 「**緩和ケア**」について、すべての医療従事者が診断時から治療と併せて取り組むべきとの趣旨から、がん医療分野の中に記載
- ・ ドラッグラグ等の課題に対し、新たな診断技術・治療法へのアクセスを確保する観点から、新たな技術の「**速やかな医療実装**」に関する項目を新規に追加し、国際共同治験への参加を含め、治験の実施を促進する方策の検討などの取組を推進

●がんと共生

- ・ 治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中で、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることを踏まえ、「**アピアランスケア**（※）」を独立した項目として記載し、拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築等を推進

※医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

●これらを支える基盤

- ・ 国民本位のがん対策を推進する観点から「**患者・市民参画の推進**」を、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供や、患者やその家族等のサービスへのアクセシビリティ向上の観点から「**デジタル化の推進**」を、新規追加
- ・ 「**全ゲノム解析等実行計画2022**」の着実な推進を記載

HPVワクチン接種について

対象者

- 定期接種：小学校6年生～高校1年生相当の女子
- キャッチアップ接種：積極的な勧奨を差控えている間に定期接種の対象であったH9.4.2～H18.4.1生の女子
【実施期間：R4年度～R6年度】

※接種機会確保の観点から、キャッチアップ接種の期間中に定期接種の対象から新たに外れる世代（①H18.4.2～H19.4.1生の女子及び②H19.4.2～H20.4.1生の女子）については、①はR5年度及びR6年度のみ対象、②はR6年度のみ対象。

勧奨について

- 定期接種対象者のうち、HPVワクチンを一度も接種していない人に、R5年5月勧奨通知（案内文及び厚労省リーフレット）を送付
- キャッチアップ接種対象者のうち、岡山市でHPVワクチンの三回接種済の記録が確認できない人に、R5年6月勧奨ハガキを送付（子宮頸がん検診も併せて案内）

岡山市の接種状況

定期接種	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総件数（件）（a）	60	205	719	1,956	5,340	5,995
推計接種者数（人）（b）	20	68	240	652	1,780	1,998
中1女子の数（13歳）（c）	3,244	3,125	3,123	3,157	3,158	3,240
接種率（b/c）	0.62%	2.19%	7.68%	20.65%	56.36%	61.66%

キャッチアップ接種	R4.10	R4（年間）	R5.10
総件数（件）（a）	1,679	5,264	4,206
推計接種者数（人）（b）	559	1,754	1,402
対象者数（c）	26,522	26,522	28,326
接種率（b/c）	2.11%	6.61%	4.94%

※参考

R3年、R4年、R5年10月末時点の実績値

R3.10	R4.10	R5.10
2,535	3,523	3,220
845	1,174	1,509
3,158	3,240	3,207
26.76%	36.24%	47.05%

※R4年、R5年10月末時点の実績値
※R4年度の実績値

がん教育



生活習慣を見直すなど取り組めることを知ることができた。
がんは珍しいことではないこともわかった。
今日のお話を活かし、自分自身や家族の健康管理を行っていきたい。

がん検診は親は受けている。
面倒なので自分は受けたくないと思ったが、今日の話聞いて受けた方がいいなと思った。

<母へ>

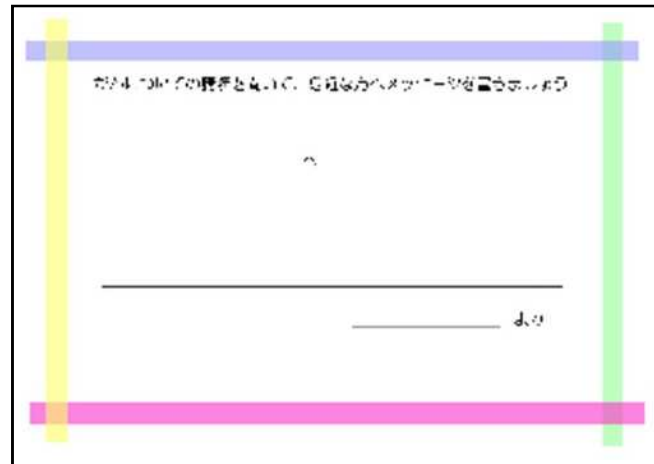
がんの検診は面倒臭がるものじゃない。
必ず受けてくれ。

令和5年度新規

メッセージカード作成
がん教育後、身近な人への
ひと言を記載。

<父へ>

がん検診を受けたことがありますか？
がんは2人に1人がなるといわれています。
まずは検診を受け、飲酒を控えることをお勧めします。



<ばあばへ>

「がん」にならないように、
毎年がん検診をしてください。
長生きしてね。

阿山市のがん検診

阿山市では、市民の健康を維持するために、がん検診の機会を提供しています。

- 乳がん検診 → 40歳以上の女性、1年1回
- 大腸がん検診 → 40歳以上の男性、1年1回
- 胃がん検診 → 50歳以上の男性、2年1回
- 子宮頸がん検診 → 20歳以上の女性、30歳～59歳以上は毎年検診可
- 肺がん検診 → 40歳以上の男性、2年1回

詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

阿山市のがん検診
お問い合わせ



がんの予防

①がんの予防

1. がん教育（早期発見に加え、がんとの共生の視点も踏まえた健康教育を実施）

- (1) 地域住民への健康教育
- (2) 愛育委員への健康教育・研修
- (3) 企業からの要望に応じた健康教育

2. 受動喫煙対策

(1) 飲食提供施設へ周知・啓発

飲食提供施設へ改正健康増進法に基づいた受動喫煙防止対策と屋内禁煙施設専用標識利用の普及啓発について通知送付

対象：食品営業許可名簿より令和2年4月1日以後に営業している飲食店 1,560件(8月送付)

(一般食堂 746件 居酒屋・焼き鳥店 317件 バー・スナック 497件)

(2) 食品営業許可新規施設へ情報提供

食品営業許可新規申請窓口にて屋内禁煙の周知徹底と受動喫煙対策についてチラシ配布

令和5年度配布数（令和5年12月末現在）250枚 ※岡山市食品衛生協会へ委託

(3) 屋内禁煙施設専用標識「岡山市空気のおいしい施設ステッカー」の配布

屋内に喫煙場所を設けない施設に対し「岡山市空気のおいしい施設ステッカー」配付

申込総数（令和2年2月～令和5年12月末現在）343件 うち令和5年度申込件数57件

(4) 【新】配慮義務（屋外等での受動喫煙防止）について情報提供

配慮義務に関するチラシ・ポスターの配布

配布場所：295カ所

{	保健センター、区役所、支所・地域センター、サービスセンター、公民館、
	図書館、ふれあいセンター、市立病院、認定こども園・認可保育園

3. 禁煙支援

(1) 喫煙者への禁煙について情報提供

禁煙治療・COPD（慢性閉塞性肺疾患）についてチラシ送付

対象：肺がん検診受診者のうち、年度末年齢40～59才で喫煙指数
（一日平均喫煙本数×喫煙年数）が200以上の受診者

【新】 令和5年度～COPD集団スクリーニング質問票を追加
送付件数（令和5年6月～9月受診分）453件

4. 母子保健事業における受動喫煙防止普及啓発等

(1) 禁煙に対する相談支援

- およこ手帳交付時に妊婦・パートナーの禁煙相談・支援を実施
妊婦の喫煙率：令和4年度 2.2%
- 禁煙に関するチラシ配布
妊婦・パートナー歯科健康診査時
幼児健診時

(2) 受動喫煙防止について情報提供

こんにちは赤ちゃん事業（生後4か月までの全戸訪問）で受動喫煙防止
リーフレット配布

早期発見の推進

②早期発見の推進

1. がん検診の受診勧奨

(1) 普及・啓発

- **【新】** デジタルサイネージ（がん検診単独）・SNS（LINE、X）・アプリ（母子モ）活用
- **【新】** 包括連携協定企業（郵便局・生命保険会社）と連携した取り組み
がん検診チラシ配布、がん疾患啓発市民公開講座実施

デジタルサイネージ



がん検診を受けましょう
(肺・大腸・胃・乳・子宮頸がん)



期間は12月31日まで

けんしんのお問い合わせは
岡山市 けんしん専用ダイヤルへ
086-803-1202

岡山市 けんしん	検索
----------	----

保健所健康づくり課



定期的に健康
チェックしていますか



けんしんのお問い合わせは
岡山市 けんしん専用ダイヤルへ
086-803-1202

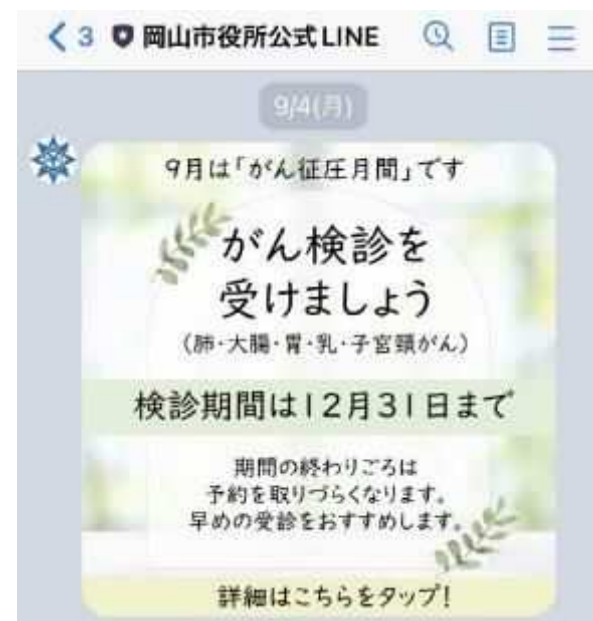
岡山市 けんしん	検索
----------	----

保健所健康づくり課

がん検診を受けましょう
(肺・大腸・胃・乳・子宮頸がん)

期間は12月31日まで

岡山市役所公式LINE



< 3 岡山市役所公式LINE

9/4(月)

9月は「がん征圧月間」です

がん検診を
受けましょう
(肺・大腸・胃・乳・子宮頸がん)

検診期間は12月31日まで

期間の終わりころは
予約を取りづらくなります。
早めの受診をおすすめします。

詳細はこちらをタップ!

(2) コール・リコール（個別受診勧奨）

	送付対象	送付件数	送付時期	受診状況
乳がん	41歳無料クーポン	4,301	5/23	674(15.7%)
	44歳・50歳・60歳未受診者	14,597	8/4	1,396(9.6%)
子宮頸がん	21歳無料クーポン	3,684	5/23	222(6.0%)
	24歳・26歳未受診	7,666	6/7	241(3.1%)
	30歳未受診	3,524	6/7	183(5.1%)
肺がん	R4年度国保特定健診受診・肺がん検診未受診者 41歳～69歳男女（50歳・60歳除く）	4,435	6/7	672(14.9%)
大腸がん	【新規】56歳・58歳男女	17,621	8/4	730(4.1%)

2. 検診の受診状況

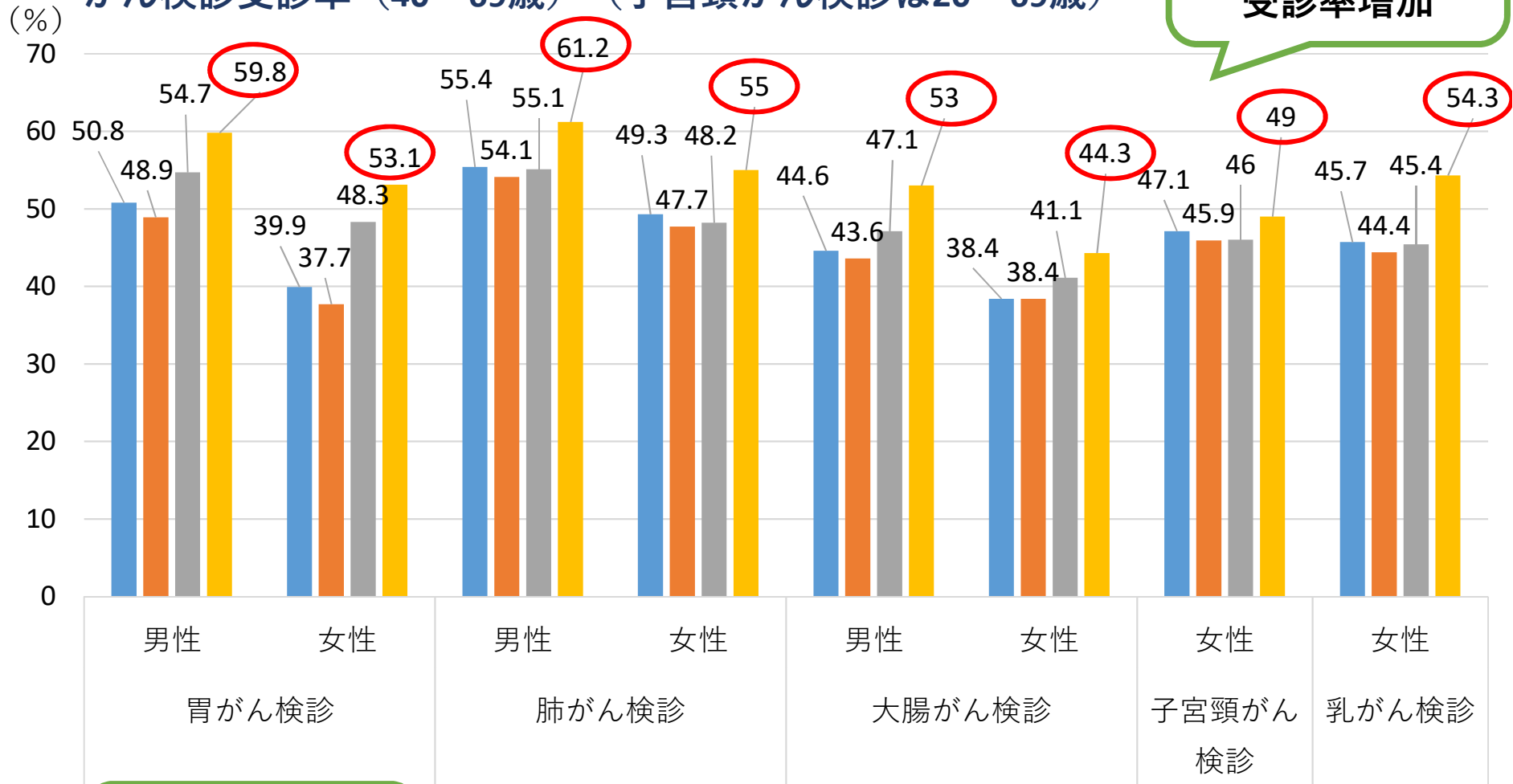
令和5年12月末暫定値

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
R5年受診者数	6,483人	30,061人	22,420人	10,108人	7,616人
R4年比	102.6%	100.2%	100.7%	106.7%	103.6%
R3年比	96.7%	101.9%	99.5%	97.7%	95.0%
R2年比	92.7%	94.1%	89.8%	105.0%	112.8%
R1年比	78.9%	84.0%	84.9%	96.3%	91.9%

令和5年12月末暫定値

岡山市がん検診受診率（国民生活基礎調査）

がん検診受診率（40～69歳）（子宮頸がん検診は20～69歳）



R4年度は全ての
がん検診で
受診率増加

国の目標
～R4年度：50%
R5年度～：60%

■ 2013(H25)年度 ■ 2016(H28)年度 ■ 2019(R元)年度 ■ 2022(R4)年度

3. 精密検査受診状況

(1) 令和4年度検診の精密検査受診状況

【令和4年度精検受診率（75歳未満）】

胃がん検診 (エックス線)	胃がん検診 (内視鏡)	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
72.5%	91.8%	80.7%	68.8%	78.9%	93.3%

許容値…胃・肺・大腸・子宮：70%以上、乳：80%以上

令和5年12月末暫定値

(2) 令和5年度検診の精密検査未受診者に対する受診勧奨

令和4年度に引き続き、5がんすべての精検未受診者を対象に受診勧奨を実施

がんとの共生に向けた岡山市の取組

市民

正しい知識の普及

がん相談窓口カードの作成・配布（市内約1,000カ所）

市広報紙での相談支援センター・患者会の紹介

地域への啓発活動

（がん検診に、がんとの共生の視点も加えて）
・がん対策リーフレットの作成と愛育委員への配布、地域への啓発で活用

「がんを知ろう」パネル展開催

（がん検診、患者会・相談支援センター等の周知、治療と仕事の両立支援体制の周知等）

市HP「がん対策」ページへの相談先情報等の掲載

新規

中央図書館でのがん情報コーナー設置

環境

環境づくり

市有施設の男性用トイレへのサニタリーボックス設置状況調査と設置促進

がん患者・家族

相談支援体制

困難課題を抱える場合行政も含め多機関で支援

治療に伴う外見変化

新規

アピアランスサポート事業（R5～）

口腔ケアとがん治療

新規

市HP「がん対策」ページへ口腔ケアとがん治療について、がん診療連携登録歯科医名簿へのリンク掲載

治療と仕事の両立支援体制

職域向けがん対策チラシ 協会けんぽ健活企業約900社配布

労働関係機関との連携

（労働局主催岡山県地域両立支援推進チームへの参加と情報共有）

新規

両立支援推進チーム主催の両立支援セミナーへの参加（パンフレット提供等）

両立支援セミナーについて岡山駅デジタルサイネージへ掲載

桃太郎のまち健康推進応援団登録企業123社へ両立支援セミナーについてメルマガ配信

がんを知ろう展

がん相談支援センター



治療と仕事の両立支援



患者会



正しい知識の普及

中央図書館 がん情報コーナー 設置



お口のケアとがん治療について啓発

お口のケアは がん治療を支えます

がん治療では、手術、放射線治療、抗がん剤治療などの治療により、からだに様々な副作用があらわれます。口のなかにおいても、口内炎や歯や歯ぐきの痛み、口のなかの乾燥により不快感を感じたり、痛みにより食事がとれないなどつらい思いをすることがあります。

がん治療開始前に歯科受診を行い、適切なケアを実施しておくことで以下のような効果が期待されます。

- 手術を受ける方は、術後肺炎などの予防につながります。
- 抗がん剤や放射線の治療による口の中の痛みや炎症の悪化を防ぎます。
- 「口から食べる」ことにより、体力回復を支えます。

岡山市HPへ
「がん診療連携登録歯科医名簿」のリンク掲載



共生に関する取組

両立支援について 駅前デジタルサイネージへ掲載

治療しながら働く人を応援

治療と仕事の両立支援

がん・糖尿病・難病など疾病を抱える従業員が、治療しながら働くことを希望するときには、適切な配慮と環境整備が必要です。事業者ができる治療と仕事の両立支援について考えてみませんか。

参加無料

治療と仕事の両立支援導入セミナー

日時：令和6年2月5日(月)14:00~16:30

場所：おかやま西川原プラザ

問い合わせ先：086-225-2013(岡山労働局 健康安全課)

超高齢化社会を迎える現代の労務管理における**必修科目**です！



事業者の方へ

【正しい知識の普及啓発】
健康に関する情報提供

【早期発見】
健康診断・がん検診を
受けやすい環境づくり

【働き続けられる環境づくり】
治療を受けながら安心して働き
続けられる職場づくり



働く方へ

【早期発見】
健康診断・がん検診を
受ける

診断後
すぐに仕事を辞めないで
まずは相談

高齢者の生活が
不変

治療費や介護、
福祉サービス
のこと

仕事のこと
が心配

相談先
な生労働省 岡山労働局



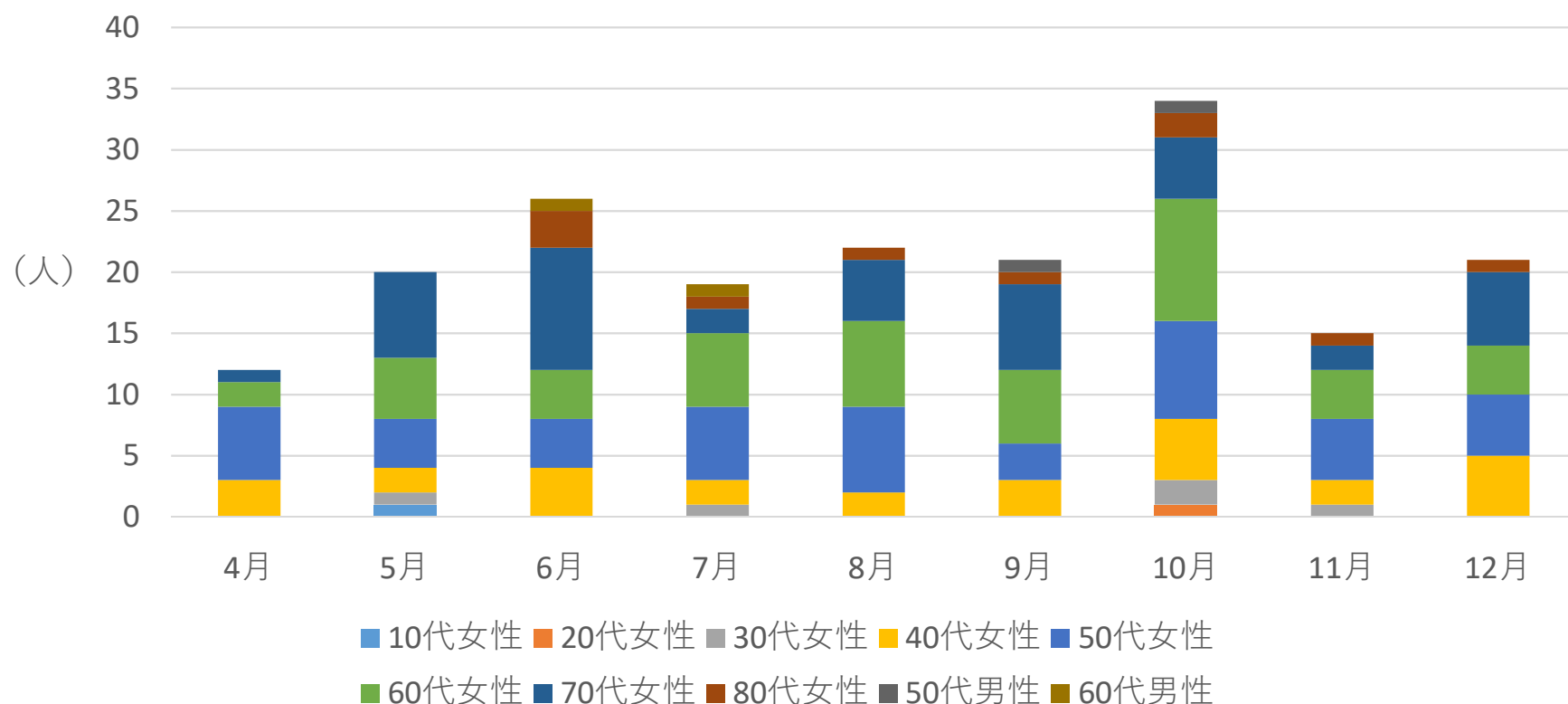
サニタリーボックス設置



アピアランスサポート事業

がん治療に伴う脱毛に対応するためのウィッグの購入費用を助成することでアピアランス（外見）の変化に伴う精神的負担を軽減し、がん患者の社会活動を支援し、療養生活の質をより良くするもの。

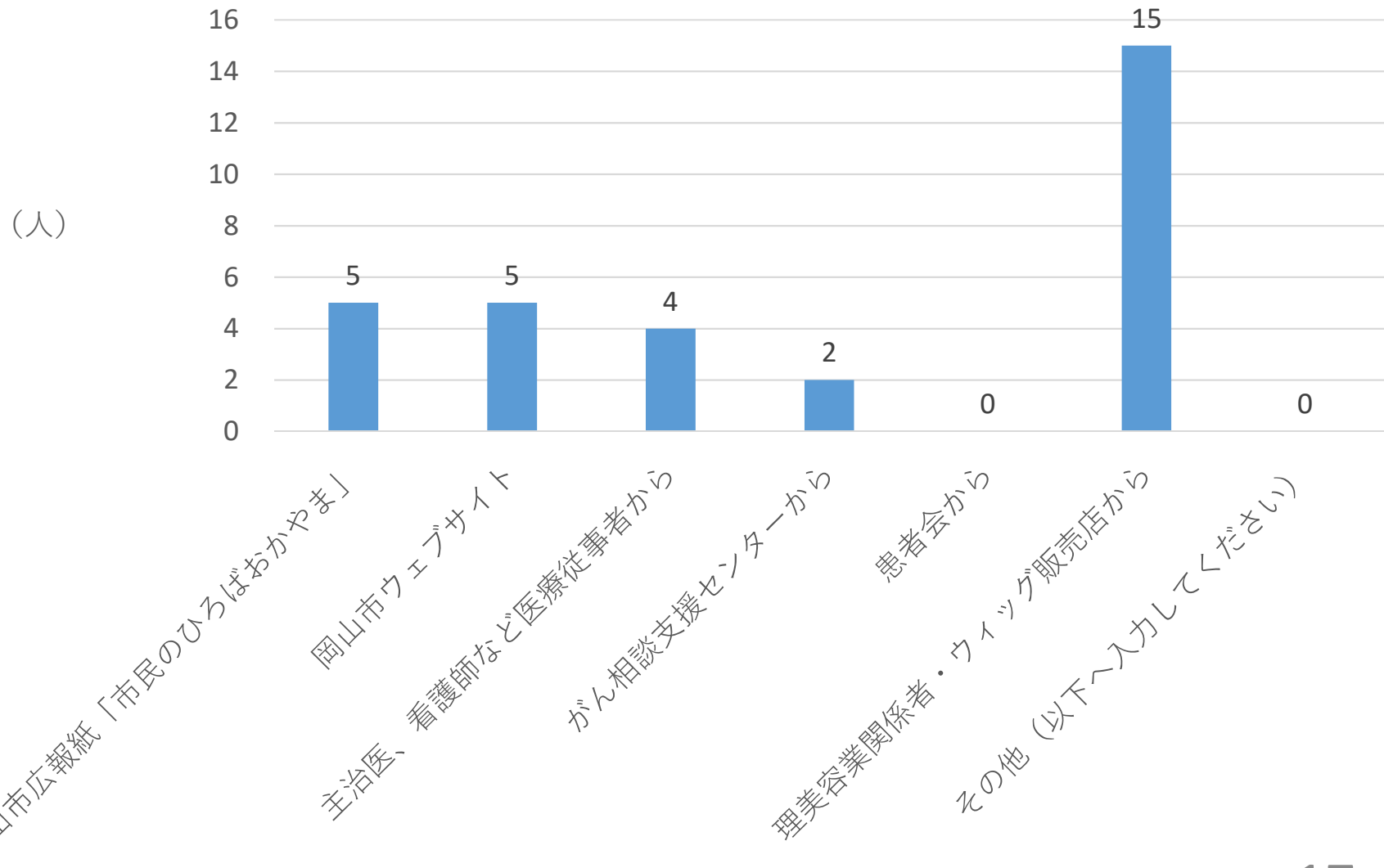
申請件数（12月末時点）



令和5年4月1日から12月31日 申請者数 190人
申請者平均年齢 60.9歳（最高齢83歳、最若年10歳）
交付決定額の平均 25,768円（交付対象経費の平均 106,067円）

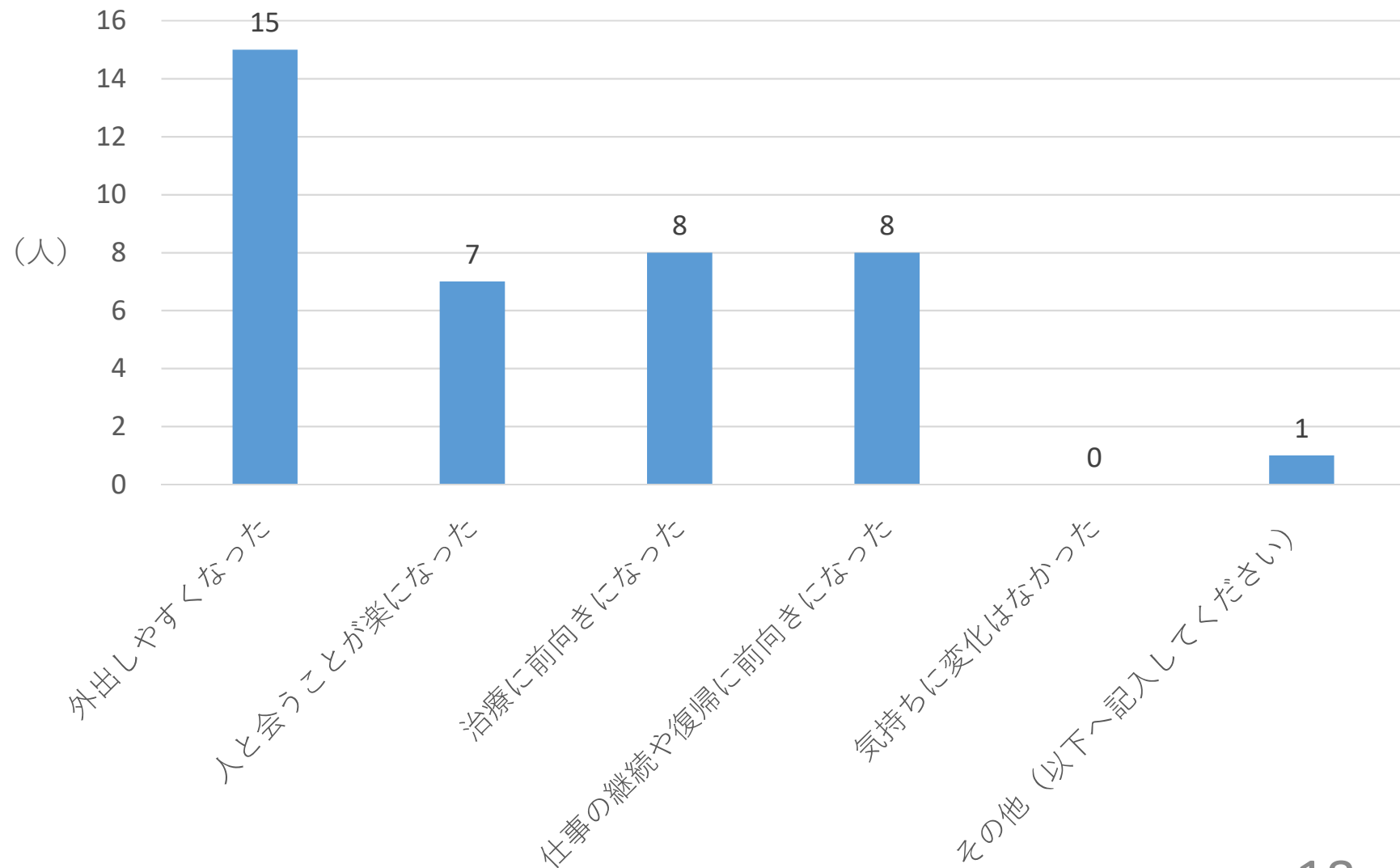
アピアランスサポート事業

本事業をどのように知ったか（複数回答可）



アピアランスサポート事業

ウィッグ着用による気持ちの変化（複数回答可）



本事業への意見

まだ30代ですので、外出の機会もあり、ウィッグが大変心強く欠かせない存在です。これからの治療を乗り越えるためのご援助のお気持ちを頂いたようにも感じております。（30代女性）

医療費もかかるためウィッグの購入が困難な人もいると思うので5万円程度のウィッグなら全額助成金でまかなえるようにして欲しい（40代女性）

ウィッグの助成以外にもいろいろな支援があれば、精神的にも金銭面でも救われるので、支援を増やしていただけたら嬉しいです。また、がんの治療をしながらでも働ける場所がいっぱいあったらなと思います。年齢も関係なく、アルバイト・パート・正社員などさまざまな雇用形態で、企業とのマッチングをしてほしいです。（40代女性）

すこしでも助成金を出していただけるというだけで、ウィッグ購入の足掛かりになった。看護師から聞かなければ知らないままだったので繰り返し広報誌へ載せた方がよいのでは（50代女性）

ありのままの惨めな頭では、何か被ってなきゃ人前には到底出られない有り様。この制度に感謝（70代女性）

在宅医療・介護の推進について

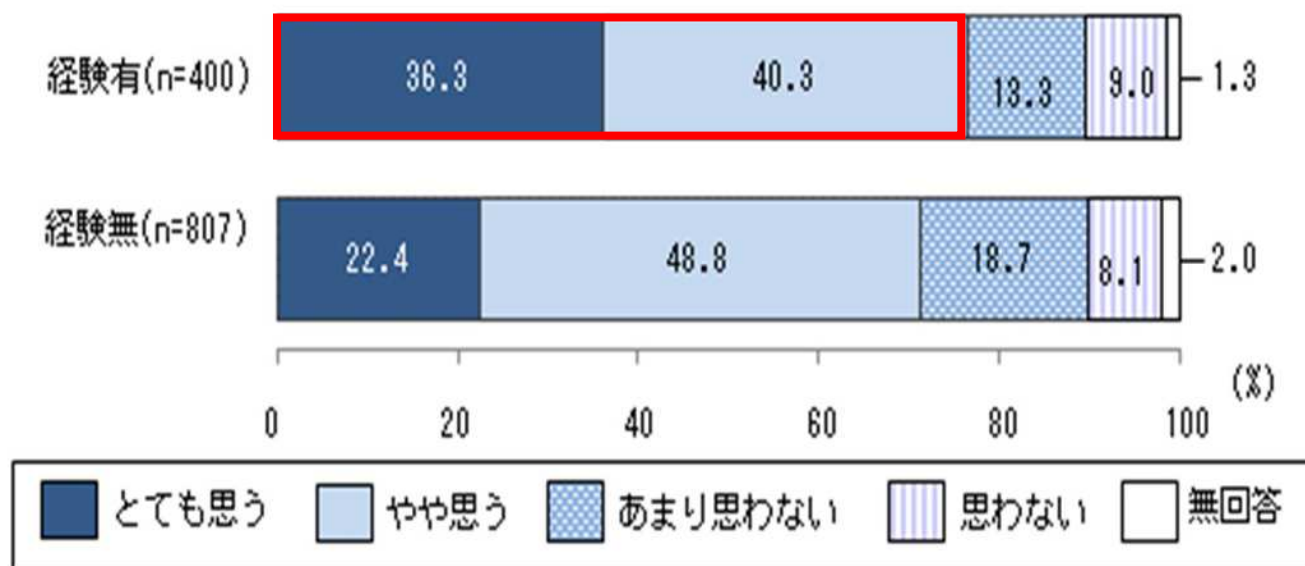
令和6年2月5日

岡山市 保健福祉局 保健福祉部
医療政策推進課

【在宅療養のイメージ】

市民が持つ在宅医療のイメージについて、自分や身近な家族、友人などの在宅医療経験がある人の方が経験がない人に比べて、「医療・介護関係者のサポートがあれば自宅での介護や看取りも可能である」が高くなっている。

【医療・介護関係者のサポートがあれば自宅での介護や看取りも可能である】



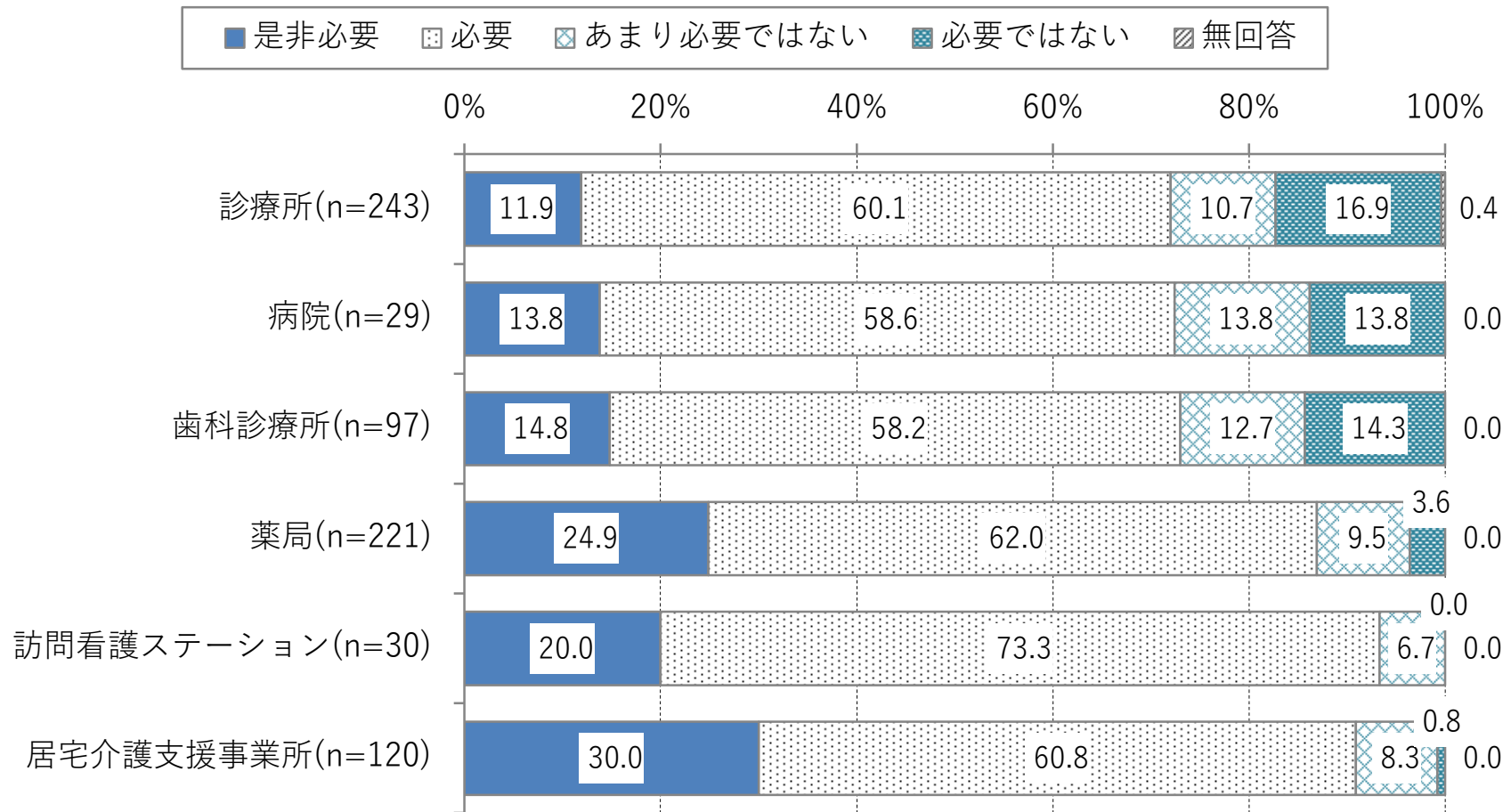
【地域における多職種間の連携を行うための課題】

(%)	か情報共有に時間がかかる	ツ効果的な情報共有ツールがない	まとめ役がない	が面識がないので連絡が取りにくい	く各専門職の役割がよく分からない	え忙しのうで情報伝えるに気が後れする	特にな	その他	無回答
診療所 (n=243)	42.8	31.7	35.0	41.2	23.0	9.1	-	7.4	0.4
病院 (n=29)	37.9	34.5	13.8	13.8	6.9	0.0	24.1	6.9	6.9
歯科診療所 (n=97)	45.5	35.4	39.2	52.9	24.3	23.8	-	1.6	9.5
薬局 (n=221)	33.9	43.0	29.0	54.3	11.3	20.4	10.4	1.4	3.2
訪問看護ステーション (n=30)	76.7	53.3	33.3	16.7	0.0	23.3	3.3	3.3	0.0
居宅介護支援事業所 (n=120)	42.5	50.8	27.5	24.2	2.5	26.7	13.3	3.3	0.0

- 診療所、病院、訪問看護ステーション...「**情報共有に時間がかかる**」
- 歯科診療所、薬局...「**面識がないので連絡が取りにくい**」
- 居宅介護支援事業所...「**効果的な情報共有ツールがない**」
の割合が最も高い。

令和4年度 市民や医療・介護の専門機関に対する在宅医療に関する意識調査 結果

【情報共有ツール活用】



- どの職能も7割以上が「必要」（「是非必要」と「必要」の和）と回答

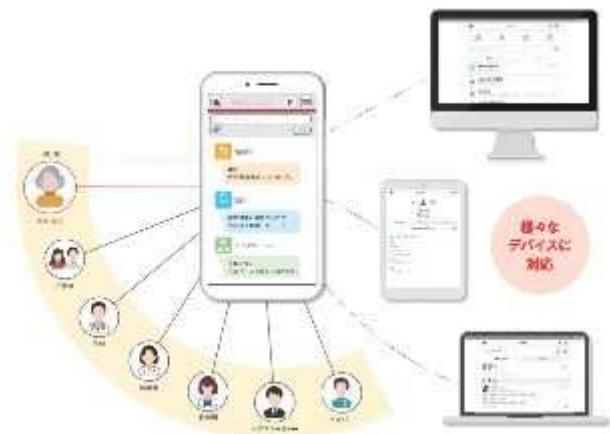
令和4年度 市民や医療・介護の専門機関に対する在宅医療に関する意識調査 結果

【MCS(メディカルケアステーション)について】

医療介護従事者のための非公開型SNSです

(病院・診療所医師、歯科医師、薬剤師、看護師、MSW、ケアマネ、PT、OT、ST、ヘルパー、事務職等)

今まで電話やFAX等で行われていたコミュニケーションをSNS上で実現することで、医療・介護の効率改善・質の向上が図れます。



誰でも
カンタン操作

全国の医療現場で利用

セキュリティは
厚労省ガイドラ
インに準拠

準備するものはPC・タ
ブレット端末（スマー
トフォン）

導入費・維持費 = 基本無料 ※1

※1 一部有料だが、無料で十分情報共有可能

【市の方針】

医師会・薬剤師会等と協力して岡山市における
共通の在宅医療・介護等の連携ツールとして
MCSの活用を推進(R4.10.4~)

- 【目的】
- ①医療と介護の連携の円滑化
 - ②医療と介護の質の向上
 - ③患者満足度の向上

岡山市内利用状況について (令和5年12月末時点)

○MCS登録者数:1547人

医師151人、歯科医師27人、薬剤師184人、
看護師338人、ケアマネジャー217人、その他657人

○医療・介護施設総数:815施設

病院68、医科診療所101、歯科診療所26、
保険薬局143、居宅介護支援事業所132、
訪問看護ステーション101、訪問介護事業所52、
通所介護44、その他148

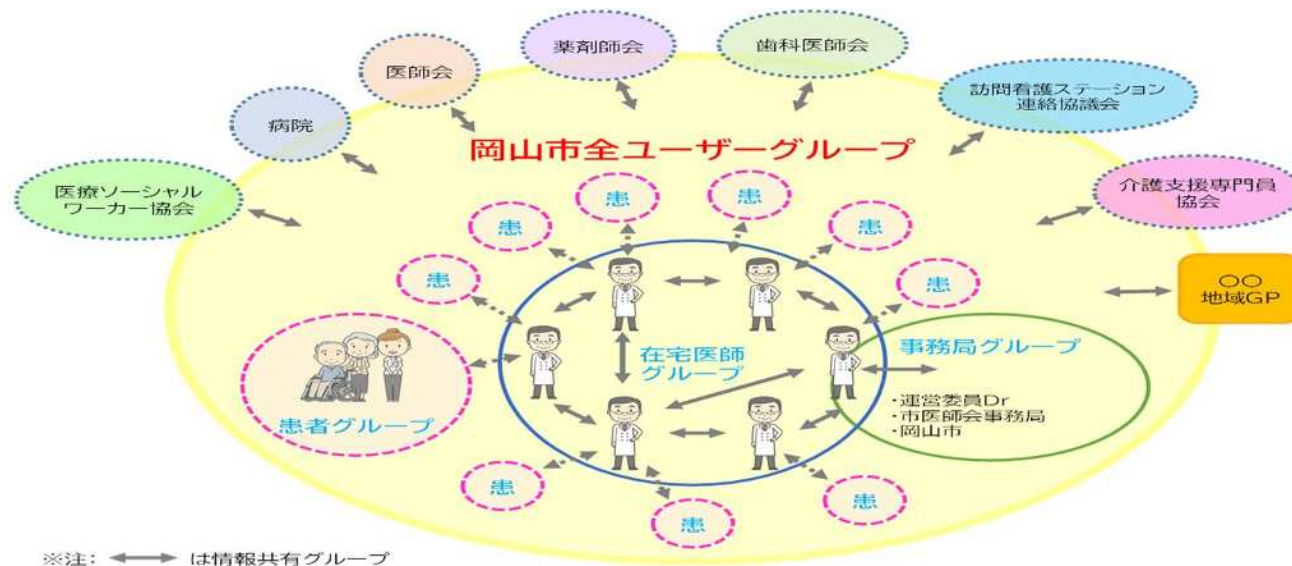
○患者グループ数:568グループ

○岡山市全ユーザグループ 495人

【岡山市全ユーザーグループについて】

- 本グループは、
 - ①医療と介護の連携の円滑化、②医療と介護の質の向上、③患者満足度の向上 を目的にした、医療・介護関係事業所の従事者の全ユーザーグループです。
- グループ参加条件・ルール
岡山市に医療・介護・介護予防関係の事業所がある、利用者様がお住まいである…等、岡山市に関わりのある方や地域で活動されている皆様に参加をお願いしています。

岡山市における利用イメージ

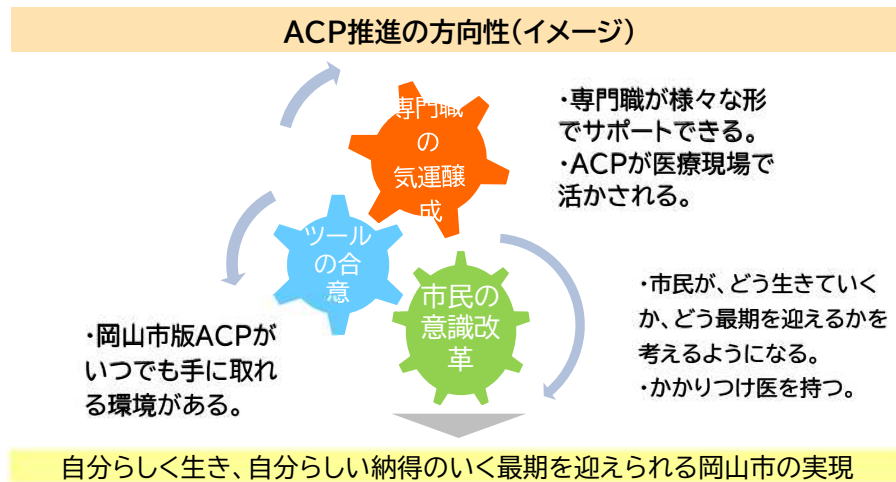


岡山市全ユーザーグループに参加することで面識のない専門職の方に対しても個別に連絡を取り合う手段ができ、グループへの招待も可能になります。参加者が増えることでより利便性が増すので、できるだけ登録してもらえるよう呼びかけています。

また市・医師会等からの情報共有・研修会等のお知らせを行っています。

【ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及・啓発について】

住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるように、在宅医療・介護のことや、本人の納得のいく終末期ケアが受けられるようACP「人生会議」の意識啓発を行っている。



> R5.3 改訂
 > 市ホームページからダウンロード可
 『岡山市 ACP』で検索

R5年度実績 (R5.12末時点)

- ① 出前講座…「在宅医療・介護と人生会議すすめ」**
 実績:出前講座 44か所、1106名受講
- ② コラボ講座…外部講師(病院・診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション等)と市職員のダブル講師**
 実績:6回、120名受講
- ③ 市民公開講座…(医師会に委託。身近な地域の医療・介護専門職が講師で6福社区単位で開催)**
 実績:4か所、225名参加 (残り2地域は1今後開催予定)
- ④ 啓発媒体(「人生会議実践BOOK」)の改訂, 公民館や地域センターなど公的機関への配架**
- ⑤ 図書館でのACPパネル展**
 実績:市内3カ所で約1か月単位で持ち回り開催
- ⑥ 専門職への啓発…研修会開催、病院や薬局等へ啓発媒体の配架**
 実績:研修会7回 412名受講、市内病院38カ所・市内薬局133カ所 配架

「第4次岡山県がん対策推進計画」（素案）について

がん対策基本法第12条に基づく「第3次岡山県がん対策推進計画（平成30年度～令和5年度）」が今年度で終了することから、引き続き、本県のがん対策を総合的かつ計画的に推進するため、国の「第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月）」や「岡山県がん対策推進条例」を踏まえ、「第4次岡山県がん対策推進計画」を策定することとし、その素案を作成した。

1 基本理念

「県民ががんを知り、がんと向き合い、がんになっても自分らしく生き抜くことのできる岡山県の構築」を目指し、県、がん患者を含めた県民、医療関係者、関係団体等が一体となってがん対策に取り組む。

2 計画期間

6年間（令和6年度～令和11年度）

3 策定の考え方

国の「第4期がん対策推進基本計画」を基本とし、本県におけるがん予防に関する状況、がん患者に対するがん医療の提供の状況及び新たに取り組む必要がある対策等を踏まえるとともに、第9次岡山県保健医療計画や第3次健康おかやま21等の諸計画との整合性を図り策定する。

4 計画（素案）の概要

別紙のとおり

第4次岡山県がん対策推進計画（素案）の概要

1 基本理念

県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんになっても自分らしく生き抜くことのできる岡山県の構築

2 全体目標

- (1) がん予防・がん検診の充実等による罹患率・死亡率の減少
- (2) 切れ目のない医療提供体制の整備、全てのがん患者とその家族等の苦痛の軽減並びに療養生活の質(QOL)の維持向上
- (3) がんになっても安心して生活し、がんとともに自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現

3 分野別施策と個別目標

- (1) がんの予防
 - ①喫煙問題対策の推進
 - ・20歳以上の者の喫煙率の減少、20歳未満の者の喫煙、受動喫煙の防止
 - ②感染症対策の推進
 - ・肝炎の早期発見、早期治療による肝がんの発症予防及び子宮頸がん予防ワクチンの普及啓発
 - ③生活習慣の改善
- (2) がんの早期発見
 - ①がん検診の受診率の向上
 - ②がん検診の質の向上
- (3) がんの診断・治療に関する医療水準の向上
 - ①がん診療連携拠点病院等の充実・強化
 - ・がんの診断、治療、緩和ケア、希少がん、難治性がん及びがんゲノム等について切れ目のない医療提供体制の整備
 - ②手術療法・放射線療法・薬物療法及びチーム医療の推進
 - ・拠点病院等での集学的治療を実施する医療提供体制の強化及び多職種によるチーム医療体制の整備
 - ③がん診療ガイドラインに沿った医療の推進

④がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・緩和ケア研修を終了した医師等の増加及び緩和ケアの普及啓発による、県民の正しい理解の促進

⑤地域における医療連携の推進

- ・地域連携パスの在り方の検討及び拠点病院等とかかりつけ医との連携体制の整備

⑥在宅医療（療養）提供体制の構築

- ・住み慣れた家庭や地域での療養に向けた、在宅療養を支える医療機関の増加
- ・望む場所で最期を迎えることのできるがん患者の割合の増加

⑦がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成

(4) 患者・家族への支援

①相談窓口の充実

- ・がん相談支援センターの周知、相談支援体制の充実及びピアサポーターの資質向上

②情報提供

③がん患者のQOL向上

- ・拠点病院等でのアピアランスケア等の相談対応や情報提供が適切に行われる体制の構築

④患者等の参画の推進

- ・がん患者団体のネットワーク強化や活動の充実、患者及びその家族等が参画できる体制の整備

(5) がん登録の推進

①院内がん登録の精度向上

- ・院内がん登録によるがん診療の実態把握及びがん医療の質の向上

②がん登録データの活用

③研究支援

(6) 小児、AYA世代、高齢者のがん対策

①小児がん、AYA世代のがんの医療提供体制の整備

- ・小児がん拠点病院等とかかりつけ医などの関係機関の連携による、小児・AYA世代のがんの医療提供体制の構築

②小児がん、AYA世代のがんに関する相談支援、連携体制の構築

- ・小児・AYA世代のがん患者とその家族等の相談支援体制の整備及び必要な

情報を正しく入手するための情報源の周知

③妊孕性温存療法

- ・妊孕性温存療法に関する必要な情報提供及び相談支援体制の整備

④高齢者のがん対策

- ・高齢のがん患者の状況に応じた、適切な医療や支援が受けられる体制の整備

(7) がんの教育・普及啓発

①学校におけるがんの教育の充実

- ・がんの予防、早期発見のための児童、生徒等へのがん教育の在り方の検討

②がんを正しく理解するための普及啓発

(8) がんになっても安心して生活し、がんとともに自分らしく生きることのできる

地域共生社会の実現

①治療と仕事の両立支援のための取組

- ・がん患者が治療を受けながら働くことができる職場環境づくり及び診断時からの必要な情報の提供や相談支援体制の整備

②ライフステージに応じたがん対策

- ・小児・AYA世代のがん患者・経験者と家族に対する制度や相談機関等の周知
- ・がん患者が人生の最終段階において、本人の望む場所で自分らしい最期を迎えるためのACPの普及啓発

(9) デジタル化の推進

- ・オンラインでの相談支援や患者サロンが開催できる体制の整備

(10) 非常時を見据えた対策

- ・感染症発生・まん延時や災害時等の状況においても、必要ながん医療が提供できる体制の整備

○「がんに関する教育」について

目的

現在、日本人の2人に1人が、がんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われている。がんは、日常生活と密接に関係する疾患であり、がんを予防するためには、生活習慣を形づくる時の教育が大変に重要である。このことから、ある程度理解力が備わり、また喫煙習慣や生活リズムの変化をきたしやすい中高生を対象とし、がんの理解と予防に関する知識を深めていくことを目的として、がんに関する教育を推進していく。

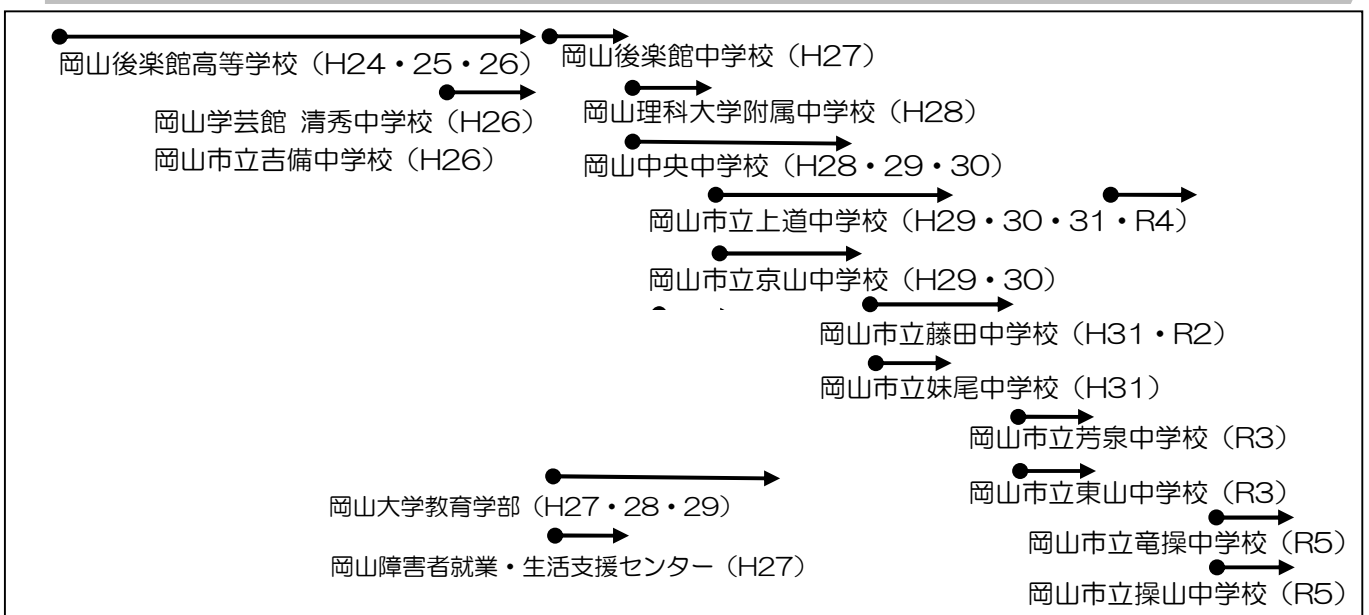
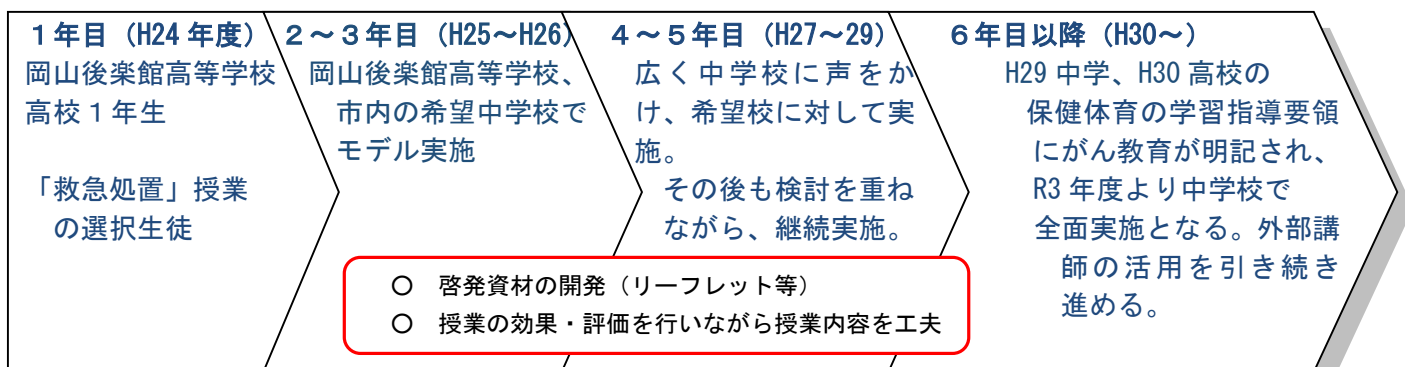
ねらい

健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つように教育する。

方法

- 1 実施希望校におけるがん教育の実施（H24 年度～）
- 2 教育啓発資材の開発 ⇒ リーフレットの作成・使用（平成 26 年 3 月末初版発行）
中学生や高校生にもわかり易い啓発資材を作成し、効果的ながんに関する教育を行う。

経過・実績



3 授業内容

- 講師による講話：医師、がん患者、保健師、栄養士等、MSW等
- （リーフレット：『知って欲しい「がん」のこと』…平成 30 年 3 月改定）
- 授業時間：50分内容（がんに関する知識の講話中心）と100分内容（知識及びがん患者からの講話）の2通りのプログラム